

第40回全京都障害者総合スポーツ大会 卓球大会の部 実施要項

本大会に限り、新型コロナウイルス感染拡大予防のため従来の大会とは別の方法で実施します。
また、開会式、閉会式は行わず無観客とし、会場内は選手、介助者、競技役員のみとします。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況等により中止する場合があります。

1) 日 時

令和3年1月24日(日)

1部 療育の部(学校)	午前 9時30分受付	午前10時～12時
2部 身体・精神の部	午前11時30分受付	午後 0時～ 2時
3部 療育の部(一般)	午後 1時30分受付	午後 2時～ 4時

雨天決行

(但し、当日午前7時現在で、京都府内に暴風警報が発令されていれば中止とする。)

2) 会 場

京都市障害者スポーツセンター

京都市左京区高野玉岡町5 京都バス、高野玉岡町下車

3) 主 管

京都卓球協会

4) 参加資格

京都府内に在住、在勤、在学する者で障害者手帳(身体・療育・精神)を持つ12歳以上(令和2年4月1日現在)の者。

5) 競技種目及び競技方法

競技種目は卓球とサウンドテーブルテニスの男女別のシングルスとする。また、卓球種目は、立位と車いすに区分し、さらに立位は障害別に区分してそれぞれにリーグ戦(1人2試合)を行う。なお、参加状況により組み合わせや試合方法を変更することがある。

6) 競技規則

- ① 競技規則は、公益財団法人日本卓球協会(JTTA)競技規則、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申し合せ事項による。なお、サウンドテーブルテニスは、日本視覚障害者卓球連盟2019年改正ルールによる。
- ② 卓球は40ミリの白球(TSP・プラスチック)を使用する。サウンドテーブルテニスは40ミリオレンジ球を使用する。
- ③ 卓球・サウンドテーブルテニス共に、1ゲーム11点による3ゲームマッチとして、2ゲームを先取した者を勝者とする。

7) 参加申込

- ① 所定の申込書に必要事項を記入し、下記あて12月7日(月)までに申込むものとする。(必着)
当日の参加申込みは受けつけない。

申 込 先	〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5 京都市障害者スポーツセンター内 (一社) 京都障害者スポーツ振興会
-------	--

- ② 参加料1人500円(当日受付で支払うこと)

8) 表 彰

種目別、性別、障害区分別に表彰規定に基づき表彰する。

9) 留意事項

- ① 車いすは、原則として各自常用のものとする。
- ② 運動ぐつ(屋内ばき)、その他卓球ができる服装は各自で必ず持参すること。
- ③ サウンドテーブルテニスはアイマスクまたはアイシェードを使用して試合を行う。
- ④ 競技中の事故については、応急手当のほか主催者の加入する保険の範囲でのみ補償する。
- ⑤ 事前に医師の診断を受ける等、十分な健康管理の下に参加すること。
- ⑥ ゼッケンは各自が準備したものの着用すること。なお、卓球種目ではウェアは白色以外の色とすること。

ゼッケン 20cm

氏 名 (所属)

30cm

※所属は、行政区・学校・施設等を記入

- ⑦ 会場は駐車台数が制限されますので可能な限り公共交通機関を利用すること。どうしても自動車の利用を必要とする方は、申込書にその旨記入すること。(事務局で調整し連絡する)
- ⑧ 京都市障害者スポーツセンターでは新型コロナウイルス感染対策として、利用制限人数が定められているため、参加申込状況により抽選を行い出場をお断りする場合がありますのでご了承願います。(参加可否の連絡は、12月17日(木)までに行います。)

10) 新型コロナウイルス感染予防について

- ① 当日はマスクを持参し、主催者側の感染予防策に従ってください。
- ② 受付時に検温を行います。
- ③ 次の方は参加を見合わせてください。
 - ・ 受付時の検温で平熱より概ね1度以上熱が高い方又は37.5度以上の方
 - ・ 咳、倦怠感、臭覚や味覚の異常があるなど体調が良くない方
 - ・ 2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある方
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる場合
- ④ 当大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告すること。
- ⑤ 参加者へは、その他の感染予防策等及び受付・試合時間について別途通知します。その際同封する大会前2週間体調チェックシート(提出用)に大会前14日間と当日の体調を記入し、必ず受付で提出すること。
- ⑥ 感染を防ぐため、決められた受付時間に来館し試合が終わり次第速やかに退館願います。

11) そ の 他

- ① 申込み後、何らかの事情で出場できない場合は必ず事前に連絡をすること。
- ② 次年度の全国障害者スポーツ大会に出場希望者は、申込用紙の希望欄に必ず○印をすること。但し選考にあたっては過去に出場経験のない人の中から選考します。
なお、全国障害者スポーツ大会は、身体障害者手帳(内部障害のみを除く)・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者が対象です。
- ③ ホームページ、マスメディア等に写真や大会成績が掲載されることがありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせは、(一社)京都障害者スポーツ振興会へ

T E L 075-712-7010・F A X 075-712-7015

(但し、日・祝・火曜日及び第3金曜日を除く午前10時～午後6時)

第40回全京都障害者総合スポーツ大会

卓球大会の部 参加申込書

※ 楷書でていねいに記入して下さい。

ふりがな		男・女	歳	障害区分番号
氏 名				
住 所	〒 _____			
※確実に連絡が取れる電話番号を記入してください。		TEL(_____)		—
E-mail:		FAX(_____)		—
所属または行政区				

該当箇所に○印をしてください

障 害 者 手 帳
身 体 ・ 療 育 ・ 精 神

障 害 名 (手帳に記載されている障害名を記入して下さい)

該当箇所に○印をしてください

肢体不自由(1)	上 肢	
	下 肢	
	体 幹	
肢体不自由(2)	車 い す	
肢体不自由(3)	脳 性 マ ヒ	
	片 マ ヒ	
視 覚 障 害	アイマスク使用 サウンドテーブルテニス	
	アイマスクなし 卓 球	
聴 覚 言 語 障 害		
療 育		
精 神 保 健		
内 部 障 害		

どちらかに○印をしてください

次年度の全国障害者スポーツ大会の出場	
希 望 す る	
希 望 し な い	
過 去 の 出 場 経 験 の 有 無	有 ・ 無
⑨の人はどこの府県であった大会ですか	

手話・要約
必要な方へ

手話通訳、要約筆記が必要な方は、
どちらが必要かご記入ください。
☐手話通訳 ☐要約筆記

車で来られる方は車種、台数を記入してください。

車 種		台 数	台
-----	--	-----	---

※ 事前に医師の診断を受ける等、十分な健康管理の下に参加すること。

※ 上記の個人情報、当該目的以外には使用いたしません。

卓球大会 障害区分表

			障 害 区 分	障害区分番号
肢体不自由	1	上肢障害	片上肢障害	1
			両上肢障害	2
		下肢障害	片下腿切断，片下肢不完全	3
			片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	4
			片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	5
		体幹	体幹	6
肢体不自由	2	脳原性麻痺以外で車いす 常用、使用	第8頸髄まで残存	7
			座位バランスなし	8
			その他の車いす	9
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、 脳外傷等)	車いす使用	10
			杖または、松葉杖使用	11
			上肢に不随意運動あり	12
			上肢に不随意運動なし	13
			片側障害	14
	視覚障害			アイマスク・アイシェードあり
アイマスク・アイシェードなし				16
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく機能障害			聴覚障害	17
療 育			療育	18
精神保健			精神保健	19
内部障害			内部障害	20

〔障害区分の説明〕

- 1 完全とは、上肢や下肢の大きな3つの関節の機能が損傷を受け、補装具なしでは体重を支えきれないもの。
- 2 体幹障害とは、脳原性麻痺を除く脊柱障害のもの（脊柱側弯など）。
- 3 関節離断は、上位の部位の切断として扱う。肘関節離断は上腕切断となる。指および手のひらの切断は手部切断となる。
- 4 肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合には、7級に認定された障害の区分で競技に参加してもよいが、多肢切断や両上肢障害などのように、複数の部位の切断や機能障害の場合には、3肢以上（多肢）や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。
- 5 座位バランスの判定は、「へそ」の位置での知覚レベルの有無が一つの判断基準になる。背もたれのない椅子に座り両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランス有り」と判断する。
- 6 肢体不自由者2で、頸髄や脊髄損傷以外のものは、筋力評価等によって適用する区分に入れる。
- 7 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。
- 8 脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障害である。
- 9 視覚障害は視力・視野の程度に関わらず、アイマスクまたはアイシェードの有無で出場競技を分ける。
- 10 障害区分15は、各自で用意した光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。